

招待状



Protect. Prepare. At the Forefront of Safety.
守る、備える、安全安心の最前線。

東京国際消防防災展2008 Tokyo International Fire and Safety Exhibition 2008

自治体消防制度60周年記念



会期: 2008年6月5日(木)~8日(日) 10:00-17:00

会場: 東京ビッグサイト 西1・2ホール・屋外展示場

主催: 東京消防庁 / (株)東京ビッグサイト / 東京国際消防防災展2008実行委員会

Date: Jun.5(Thu.)-8(Sun.), 2008

Venue: Tokyo Big Sight (Tokyo International Exhibition Center)

Organizers: Tokyo Fire Department / Tokyo Big Sight Inc. / Tokyo International Fire and Safety Exhibition 2008 Executive Committee

最新の防災製品・技術が集結
国内最大級の消防防災展示会

●出展者数 約200社

●開催規模 3万m²



www.fire-safety-tokyo.org

開催の概要



東京国際消防防災展2008

開催概要

- 名称: 東京国際消防防災展2008
(Tokyo International Fire and Safety Exhibition 2008)
- 会期: 2008年6月5日(木)~8日(日) 10:00~17:00
- 会場: 東京ビッグサイト
西1・2ホール、アトリウム、屋外展示場 (約30,000m²)
- 主催: 東京消防庁、(株)東京ビッグサイト、
東京国際消防防災展2008実行委員会
- 特別協力: (財)日本消防協会 / 全国消防長会 / アジア消防長協会 /
日本臨床救急医学会
- 後援: 内閣府(防災担当) / 総務省消防庁 / 防衛省 / 外務省 /
厚生労働省 / 経済産業省 / 国土交通省 / 海上保安庁 /
気象庁 / 東京都 / 米国大使館商務部 /
英国大使館貿易・対英投資部(順不同)
- 協賛: (財)全国消防協会 / (社)全国消防機器協会 /
(社)日本火災報知機工業会 / (社)日本消火器工業会 /
(社)日本消火装置工業会 / (社)日本消防ポンプ協会 /
(社)日本消防放水器具工業会 / (社)全国避難設備工業会 /
日本消防ホース工業会 / (社)全国消防機器販売協会 /
(財)日本防災協会 / 日本消防標識工業会 /
ケーブル防災設備協議会 / (社)電池工業会 /
(財)日本気象協会 / 日本消防検定協会 /
(財)日本消防設備安全センター / (社)日本照明器具工業会 /
(社)日本内燃力発電設備協会 / 日本貿易振興機構(ジェトロ) /
NHK / (社)日本民間放送連盟 / (財)東京防災指導協会
- 展示規模: 196社・団体、1,078小間(屋内696小間、屋外382小間)
(平成20年3月末日現在)
- 入場料: 無料(当日登録制)



FIRE-SAFETY TOKYO

【テーマビジュアルと鳩のロゴに込めたメッセージ】

災害の象徴として配置された炎は、瓦礫をも思わせるデザインです。しかし、それは都市の地下に押し込められ、地上には平和な都市が広がっています。青空に羽ばたく鳩は平和安全の象徴であり、災害をコントロールした安全・安心な生活を意味しています。

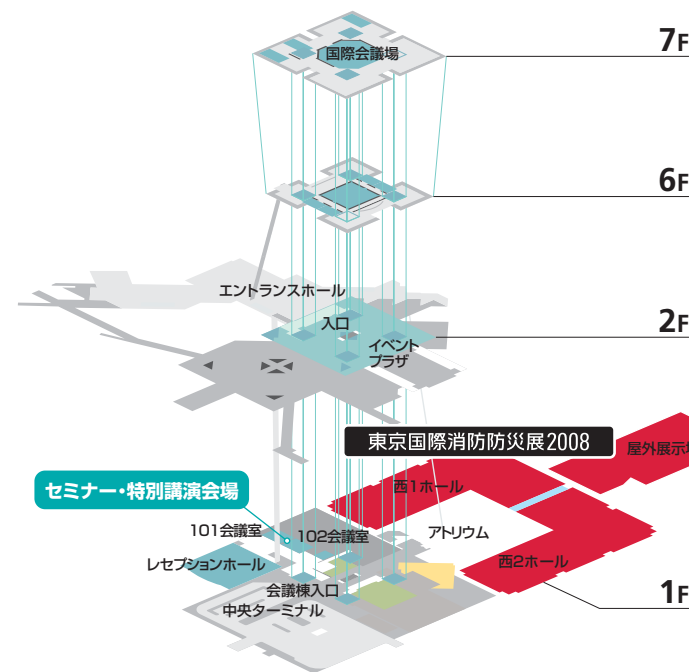
公式ウェブサイト

公式ウェブサイトでは出展企業の一覧・出展製品・見どころを閲覧できます。また、セミナー及び特別講演会の事前登録も受け付けます。さらに、会場案内図や出展者ワークショップ、東京消防庁エリア各種イベント等の最新情報を掲載します。ぜひ、ご来場の計画にお役立てください。

>>> www.fire-safety-tokyo.org



会場案内図(全体)



同時開催会議

会議棟1F~7F

- 第60回全国消防長会総会
- 第25回アジア消防長協会総会
- 第11回日本臨床救急医学会総会・学術集会

記念式典のご案内

メインステージ

開会式 6月5日(木) 9時30分~

ゲスト: 小林麻央(予定)

表彰式 6月8日(日) 14時30分~

ゲスト: 押切もえ(予定)
フォトコンテスト、川柳コンテスト、防火・防災標語の表彰。

閉会式 6月8日(日) 15時30分~

ゲスト: 押切もえ(予定)
押切さんより新・東京防災都市宣言が行われる。



※掲載された出演者・プログラム・時間等は予告なく変更になる可能性があります。

会場構成図

会場案内図 (西1・2ホール・屋外展示場)

■ 出展分類

A 消火・救急・救助

- ① 消火、火災予防 ② 救急
- ③ 救助 ④ 個人装備品
- ⑤ その他、消火・救急・救助に関する製品・サービス

B 災害対策

- ① 給水、飲料供給 ② 食料供給
- ③ ライフライン確保、生活維持・復旧
- ④ 避難誘導 ⑤ 被害防止・軽減
- ⑥ NBCR災害対策、産業施設の防災対策
- ⑦ 労働災害
- ⑧ その他、災害対策に関する技術・製品・サービス

C 情報・通信

- ① 防災情報システム ② 情報伝達・把握
- ③ サービス、コンサルティング
- ④ その他、情報・通信に関する製品・サービス



■ 特別企画ゾーン

注目の分野の製品・機器を集中展示する特別企画ゾーンを設置。

災害時のトイレゾーン

緊急地震速報・安否確認システムゾーン



在日米海軍厚木基地消防隊
飛行機火災訓練

消防演習エリア
・大規模消防演習

ポンプ車体験
乗車エリア

東京消防庁エリア

はしご車体験乗車エリア

防災メイズ

消防体験広場

屋外展示場

災害対策

消火・救急・救助

こども広場



西2ホール

消火・救急・救助

災害対策

西1ホール

情報・通信

災害時のトイレゾーン

緊急地震速報・
安否確認
システムゾーン

メインステージ

アトリウム

登録所

米海軍消防隊展示

あらし
〜トーチョファイヤーヘリテージ〜
・消防クラシックカー展示

地震に備える
・災害体験シアター
・震災関係パネル展示
・消防団の紹介、資器材展示
・防災ボランティア

生活の安心・安全
・コンセプトハウス
・応急救護指導
・模擬消火訓練装置

東京消防庁エリア

西2ステージ
・防災キッチン
・防災ファッションショー
・ICTクイズ大会

東京消防フロンティア
・消防車両展示
・消防ヘリコプター展示
・消防装備、資器材の展示
・予防業務関係展示

グローバルファイヤーギャラリー
・ヒーローズインザワールド(世界の消防服)
・JAICA及びGLAIRの事業紹介

アクセスマップ

■ 会場への交通案内



■ 主な交通機関と所要時間

交通機関	路線	乗車券	所要時間	下車徒歩	東京ビッグサイト
電車	りんかい線	片道260円	約5分	7分	国際展示場駅
	新木場駅 (JR、地下鉄)	片道320円	約13分		
	大崎駅 (JR)				
バス	ゆりかもめ	片道370円	約22分		国際展示場正門駅
	新橋駅 (JR、地下鉄)	片道240円	約8分		
	豊洲駅 (地下鉄)				
	都営バス	片道200円	約35分		
	東京駅八重洲口 (JR、地下鉄)	片道200円	約30分		
豊洲駅 (地下鉄)	片道200円	約15分			
水上バス	空港リムジンバス	片道2,700円	約65分		
	成田空港	片道600円	約30分		
	羽田空港	片道600円	約15分		
	箱崎TCAT				
バス	日の出棧橋 (JR浜松町駅下車、徒歩7分)	片道400円	約25分		有明客船ターミナル

※ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

宿泊予約のお問い合わせは、東京ビッグサイトトラベル (JTBGMT展示会デスク) まで

担当: 東京国際消防防災展2008 JTBデスク

TEL: 03-5796-5446 FAX: 03-5495-0785 E-mail: fire-safety2008@jtb.jp

招待会社名 Cordially Invited by	小間番号 Booth No.
-------------------------------	-------------------

お問合せ先

東京国際消防防災展2008 (FIRE SAFETY TOKYO) 事務局

〒135-0063 東京都江東区有明3-21-1

Tel. 03-5530-1121 Fax. 03-5530-1222 E-Mail. tfs@tokyo-bigsight.co.jp

消防演習・デモンストレーション

屋外展示場
多目的埠頭

6月5日(木)～8日(日)

消防演習

特設の訓練塔を設置し消防演習を実施。(約20分間) 演習後には記念撮影可能。



救助活動技術デモンストレーション

2棟の訓練塔を舞台に救助活動技術を披露。デモ時間外には体験コーナーとして公開。

消防艇デモンストレーション

多目的埠頭において、消防艇の航行放水を交えたデモを実施。



救急救助活動デモンストレーション

6月5日(木)～7日(土) 西2ステージ

救急救助活動をステージで再現。間近で見学可能。

はしご車・ポンプ車体験乗車

屋外展示場

6月5日(木)～8日(日)

はしごバスケット搭乗体験

はしご車先端への乗車体験。屋外会場を一望に(先着順)。

ポンプ車乗車放水体験

消防隊員とともにポンプ車乗車や放水体験。*小学校高学年以上対象



消防車との綱引き大会

6月8日(日) 10時30分～12時

20名1組となって消防車と綱引き対決。
*事前応募者・団体限定

*体験に参加を希望する方は、動きやすい服装・靴で来場して下さい。
なお、プログラムの都合や気象状況により休止する場合があります。

東京消防庁エリア協力企業

尾西食品株式会社、カロリーメイト、キャンノンマーケティングジャパン株式会社、シャープシステムプロダクト株式会社、東京コカ・コーラボトリング株式会社、ニフティ株式会社(@nifty)、富士ミネラルウォーター株式会社、北陸製菓株式会社、株式会社メリーチョコレートカンパニー(五十音順)

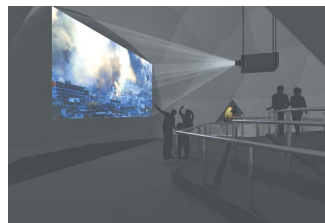
災害体感シアター

【協力：阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター】

西2ホール

6月5日(木)～8日(日)

大スクリーンへの映像で、地震等の自然災害の恐ろしさと「備え」の重要性を実感するシアター。



防災キッチン

【協力：サカモトキッチンスタジオ】

西2ステージ

6月7日(土) 10時30分(講演会)・14時(コンテスト)
6月8日(日) 10時15分・12時45分(キッチン教室)

家庭に日常的にある食材と、限定された環境での料理について学ぶ、親子対象のキッチン教室。見学自由。



被災体験者でもある坂本廣子氏による講演会「災害時を楽しく乗り切る食の知恵」や、一般公募レシピのコンテストも実施。

消防ファッションショー

【協力：ファッションカレッジ桜丘】

西2ステージ

6月5日(木) 13時30分・15時30分

既存消防服・資器材をファッションアイテムに取り入れたスタイリングや学生がデザインした消防服を披露。

くらしの安心・安全コンセプトハウス

西2ホール

6月5日(木)～8日(日)

特設モデルハウスを設置。家庭内事故事例の展示、住宅用火災警報器や家具転倒防止器具取り付けなど災害に備える安心・安全なすまい対策を紹介。

その他イベント

ICTクイズ大会

6月5日(木)～8日(日) 西2ステージ

携帯電話を使用した防災に関するクイズ大会。

キャラクターショー

6月7日(土)・8日(日) 11時・14時メインステージ

7日 サンリオハローキティ
8日 トミカヒーローレスキューフォース

屋外展示場
西1ホール

在日米海軍司令部地域統合消防隊

屋外会場において、航空機火災消火活動のデモンストレーションを実施するとともに、トレーラー式防災教育用ハウスを展示。屋内では横須賀基地/厚木基地の消防車両や米国製消防器具・機材を展示。



特別講演

公式ウェブサイトにて以下の講演の事前受付可能。

>>> www.fire-safety-tokyo.org

F-1	ドイツ消防事情と自衛消防隊の現況	101会議室
6月5日(木) 13:30～15:00	講師：独力レンタ社 消防防災最高責任者 ラルス・フリードリッヒ氏 内容：ドイツ消防事情と自衛消防隊の現況について	
F-2	日本の国際緊急援助体制	101会議室
6月7日(土) 11:00～12:00	講師：国際緊急援助隊事務局 次長 関 徹男氏 内容：海外の自然災害に対する日本の緊急援助体制等について	
F-3	効果的な防災教育への社会心理学的アプローチ(仮)	101会議室
6月7日(土) 13:30～14:30	講師：東京未来大学名誉学長 多湖 輝氏 内容：心理学による分析等を踏まえた防災教育手法への提言	
F-4	米国防火教育事情(仮)	101会議室
6月7日(土) 15:30～16:30	講師：在日米海軍司令部地域統合消防隊 予防課 課長 長谷川 祐子氏 内容：米国の消防機関における市民に対する火災予防教育について	

以下の講演については、当日先着順にて可能。

6月6日(金) 9:00～10:00	IFCAA記念講演 安全な都市を目指して～テロに備える 講師：仏バリー消防局 P・フルボワジェ氏	国際会議場
6月6日(金) 10:10～11:10 11:20～12:30	IFCAA海外消防事情 アジアの災害対策 講師：香港・シンガポール・オーストラリア等より招待予定 *IFCAA = アジア消防長協会	国際会議場
6月8日(日) 9:30～11:30	防災シンポジウム分科会 日・月 日 将来を担う防災リーダーの取り組み 月 地域の防災リーダーのあり方について	101・102会議室
6月8日(日) 13:00～15:10	防災シンポジウム 国際都市東京の防災力向上への取組み	レセプションホールB

コンサート

音楽隊
コンサート

6月5日(木)～8日(日) 連日12時

メインステージ

横浜市安全管理局、川崎市消防局(6月6日)、船橋市消防本部(6月7日)、東京消防庁(6月5・8日)によるミニコンサート。

トワイライト
コンサート

6月8日(日) 16時

屋外展示場

総合警備保障株式会社ALSOKのマーチングバンドピパーチェによるトワイライトコンサート。

消防防災セミナー

災害対策、企業防災などいわゆる防災への取り組みは、企業および自治体において依然、喫緊の課題である。本セミナーでは、消防防災に関連するタイムリーな諸問題について個別にテーマを設け、情報の活用、行政との連携、企業価値の向上といった複合的な観点から、防災に関する諸問題を考察する。

会議棟1F
102会議室

聴講無料

BS-1 6月5日(木) 10:30~11:30

■ レスキューロボットの最新技術とビジネス化への展望

阪神淡路大震災以来、レスキューロボットの研究が世界中で実施され、実際の災害や災害模擬現場での実証試験が進められるなど、実用化に近づきつつある。本講演では、最新の研究開発成果を紹介するとともに、ビジネス化への展望を述べる。

NPO法人国際レスキューシステム研究機構 会長
東北大学教授 田所 諭氏



BS-2 6月5日(木) 13:30~15:30

■ 緊急地震速報と防災情報の活用

協力：リアルタイム地震情報利用協議会

2006年8月からの特定利用者向け提供に続き、2007年10月から一般提供が開始された「緊急地震速報」。本格運用後の状況、課題等を検証するとともに、今後の活用方法や展望について考察する。

(日) 緊急地震速報の概要



火 百貨店における活用について



NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会
専務理事 藤縄 幸雄氏

(月) 緊急地震速報に関する学校を中心とした公的施設での利活用の現状と課題



水 今後の技術的な展開について



東北大学大学院工学研究科
教授 源栄 正人氏

株式会社インフォテック
代表取締役 角田 勉氏

BS-3 6月6日(金) 10:30~11:30

■ 企業防災とBCP(事業継続計画)

防災対策は、自治体や住民の側の対応だけではなく、民間企業としてもその役割が求められる。一方、中央省庁でもBCP策定が本格化してきている。本セッションでは、主に企業として準備すべきBCPの方向、最新事情等を紹介。企業価値を高めるための「企業防災」の実践を考察する。

NPO法人事業継続推進機構 理事・事務局長
NPO法人危機管理対策機構 事務局長 細坪 信二氏



BS-4 6月6日(金) 13:30~14:30

■ 災害時のトイレ。行政、企業、市民の役割・連携を考える

災害時に不可欠な問題となる、「水とトイレ」。本セッションでは特に「トイレ」に焦点を当て、実際の利用現場の声や、健康リスク、行政、企業、市民それぞれの役割と連携といった観点から、多角的に考察する機会とする。

日本トイレ協会 理事 加藤 篤氏



BS-5 6月6日(金) 15:00~16:00

■ 製造業の危機管理対策〜リケン、震災からの生産復旧の歩み〜

自動車部品大手の(株)リケンは、昨年7月の新潟県中越沖地震で、自社の生産ラインと関係協力先が被災。早期の生産復旧を可能にした最大の要因は、自動車メーカーや部品業界、行政等、多方面からの支援・協力だったという。現場の陣頭に立った講師が、完全復旧までの足跡をたどり、製造業としてのBCP取組みのあり方を提言する。

株式会社リケン 経営企画部 事業管理(BCP)室長 藤井 多加志氏



公式ウェブサイトにてセミナー参加申込受付

事前申込された方は10分前までに会場にお越し下さい。それ以降は、当日聴講希望者を順次ご案内いたします。

www.fire-safety-tokyo.org

出展者ワークショップ

ワークショップ会場日：西1ホール2F商談室(6) ワークショップ会場月：西2ホール2F商談室(6)
ステージプレゼンテーション会場：アトリウム メインステージ

A1-1 11:00~12:00

独立行政法人情報通信研究機構 TEL: 042-327-7429

科学研究費補助金(基盤研究B)成果報告会「ICTと消防防災」

(独)情報通信研究機構、総務省消防庁消防研究センター、工学院大学の3機関の研究者による、「大規模災害の事前事後における消防活動支援および情報共有システムに関する研究」の4年間の成果をご紹介します。

A2-1 13:00~14:00

独立行政法人情報通信研究機構 TEL: 042-327-7429

「電子タグを利用した測位と安全・安心の確保」ワークショップ

ICタグを位置情報源として防災や防犯等に活用する共同研究プロジェクト(東京大学CSIS、国土地理院、(独)情報通信研究機構、総務省消防庁消防研究センター、科学警察研究所)の3年間の成果をご紹介します。

A2-2 13:00~14:00

日本カインール株式会社 TEL: 06-6376-1600

GENTEXアルミナイズドクロスの特徴と米国規格への対応について

アメリカ・ヨーロッパにおける消防服の規格開発経緯と近接消防用消防服生地として、アメリカで唯一規格入りしているジェンテックス製品の品質、市場動向について

A3-2 15:00~16:00

東京ガス株式会社

「ガスコンロの全口安心センサー化について」(Siセンサーコンロの実力)

ガスコンロはみなさまに、安心、便利、笑顔を約束する、賢いセンサーを全口に搭載した、まったく新しい「Siセンサーコンロ」へと進化しました。「Siセンサーコンロ」の安全性をご紹介します。

B1-1 11:00~12:00

PROCARE INTERNATIONAL CO.

Lifeline Descent System、高所緊急避難の新しい安全基準(仮)

Lifeline descent is a last resort device for the emergency escape from high rise building. When all other avenues of escape have been exhausted, Lifeline Descent offers the reliability and safety of proven centrifugal brake technology. Lifeline Descent is characterized by its simplicity and versatility.

B1-2 11:00~12:00

日本セイフティー株式会社 TEL: 0120-208-718

きれいな 簡単におわない「自動ラップ式トイレ」新システムが被災地を救う

ハイテクトイレがもたらした安心・安全なトイレ環境 ~能登半島地震・中越沖地震被災地に導入~ 「自動ラップ式トイレ」とは

B2-1 13:00~14:00

株式会社フォーラムエイト TEL: 03-5773-1888

避難解析EXODUS

避難シミュレーションEXODUS、火災シミュレーションSMARTFIREの概要、事例等の解説、VRソフトUC-win/Road for EXODUSとの連携による解析結果の3次元可視化をご紹介します。

B2-2 13:00~14:00

株式会社アルテリア TEL: 04-2969-1717

ロープレスキュー説明会

ロープや資器材を使用して救助活動を行うための説明会です。欧米や日本の規格、検証データに基づいて、救助活動を行う際の疑問にお答えします。参加費1,000円(DVD、テキスト代込)、要予約(当社員、定員80名)。

B3-1 15:00~16:00

REIC/株式会社 サンシャイン TEL: 03-3556-4111

緊急地震速報の利活用と展望

緊急地震速報は昨年10月、世界で初めて一般への提供が我が国でスタートしました。緊急地震速報の利活用状況について関係者でディスカッションします。利活用事例をふまえて課題と今後の展望を明らかにしてゆきます。

C2-2 13:00~14:00

株式会社アルテリア TEL: 04-2969-1717

ロープレスキュー説明会

ロープや資器材を使用して救助活動を行うための説明会です。欧米や日本の規格、検証データに基づいて、救助活動を行う際の疑問にお答えします。参加費1,000円(DVD、テキスト代込)、要予約(当社員、定員80名)。

*内容は変更になる場合があります。
*出展者ワークショップ、ステージプレゼンテーションの内容や受付方法については、各出展者にお問合せください。

出展者一覧

アールシーソリューション(株)
(株)IHシバウラ
(株)赤尾
アキレス(株)
(株)アシックス
芦森工業(株)
アゼアス(株)
(株)吾妻商会
(株)アルテリア
ALONGO INTERNATIONAL CORP.
(株)イーストアイ
イカロス出版(株)
池上通信機(株)
(株)立売編製作所
(株)イヌイ
(株)イマジョー
イワツキ(株)
(有)ウエスタン・リンク
エア・ウォーター防災(株)
EXCO(Daegu Exhibition & Convention Center)
エムエスエイジャパン(株)
(株)エム・ケー・ケー
(株)大阪サイレン製作所
大塚消火器(株)
大塚製菓(株)
(株)小川キャンパル
沖電気防災(株)
小倉クラッチ(株)
ガデリウス(株)
加納化成(株)
関東梯子(株)
危険物産業展2008
危険物保安技術協会
木曾興業(株)
(株)北浦製作所
君岡鉄工(株)
共成(株)
キング工業(株)
(株)近代消防社
(株)倉本産業
(有)くらや
クリヤマ(株)
Groupe Leader S.A.
(株)ケアサイクル(株)
(株)ケーイーエム
KDDI(株)
ケーブル防災設備協議会
光進電気工業(株)
光明理化学工業(株)
コーンズ ドッドウェル(株)
コクヨS&T(株)
小林防火服(株)
(有)埼玉通商
(株)坂口技研
櫻護謄(株)
(株)佐藤工業所
三愛物産(株)
サンコー(株)
(株)サンコーシャ
(株)サンシャイン
サンマックス(株)
(株)シー・イー・デー・システム

GS HI-TEC CO., LTD.
(株)重松製作所
(株)ジコー
(株)シモン
(株)ジャパンビバレッジ
湘南工作販売(株)
(財)消防試験研究センター
(株)新建新聞社
新コスモス電機(株)
(株)スチール
住友スリーエム(株)
(株)スリーライク
(株)セイエンタプライズ
セコム(株)
セコムアルファ(株)
有限責任中間法人全国住宅火災防止協会
(社)全国消防機器販売業協会
(社)全国避難設備工業会
千住スプリンクラー(株)
(株)総合サービス
(株)測研
第一商事(株)
大学産業(株)
(株)ダイキ
ダイプリンクジャパン
高島(株)
(有)ダックス
(株)谷沢製作所
(株)タバタ
(株)地球環境秀明
中央理化学工業(株)
THK(株)
帝国繊維(株)
帝人テクノプロダクツ(株)
東京ガス(株)
東京サイレン(株)
東京消防機器研究会
(株)東京電機
東京都葛飾福祉工場
(株)東京法規出版
東京法令出版
(株)トーマアポージン
トーハツ(株)
(株)TOWA
土牛産業(株)
(株)トクシン電気
(独)情報通信研究機構
トヨタ自動車(株)
ドレーグル・セイフティー・ジャパン(株)
(株)ナカネ
(株)ナガフ
日動工業(株)
(株)ニチボウ
ニッケン産業(株)
日産自動車(株)
ニッタン(株)
日本海洋(株)
日本毛織(株)
日本電気(株)
(株)日本エレクトリック・インスルメント
日本エンコン(株)
日本カインール(株)

日本機械工業(株)
日本実務出版(株)
日本消防検定協会
日本消防標識工業会
(社)日本消防放水器具工業会
日本セイフティー(株)
日本ナドナルドソン(株)
(社)日本内燃力発電設備協会
日本フェンオール(株)
能美防災(株)
パウアーコンプレッサー(株)
(株)パトライト
阪国電機(株)
(株)ピーシー販売
ピーピー・ダブユ(株)
光防災センシング振興協会
ビクトリックス・ジャパン(株)
ファーン・ジャパン・インク日本支社
(株)フォーラムエイト
(株)フォーレ・ディ
深田工業(株)
藤井電工(株)
富士グループ(株)
船山(株)
(有)PLAZA KAZU
PROCARE INTERNATIONAL CO.
(株)プロデュース
平和機械(株)
東京国際消防防災展2008 実行委員会
(株)報商製作所
ホーチキ(株)
北陸製菓(株)
ホダカ(株)
(株)ボネックス
(株)ホルムス
本田技研工業(株)
(株)マキタ沼津
松下電工(株)
松本機工(株)
マルヤマエクセル(株)
三菱電機特機システム(株)
ミドリ安全(株)
三益消防機材(株)
宮田工業(株)
(株)ミラージャパン
Modeltech International Inc.
モバイル放送(株)
(株)モリタ
(株)ヤマダコーポレーション
ヤマトプロテック(株)
ヤマハモーターエンジニアリング(株)
(株)ユニバーサル・イメージ
(株)横井製作所
ヨネ(株)
(株)ライズ
(株)リソー
リフレクサイト(株)
菱相自動車工業(株)
レールダル メディカル ジャパン(株)